

「雑談・独り言」 昭和は遠くなりになり

突然のスピーチ依頼

朝礼や会議、交流会、パーティーやチヨットした飲み会等で、様々な場でスピーチの機会があります。いきなり指名されることがある。分かっておれば、ある程度考えておけますが突然のスピーチは面くらうこともありませぬ。

そういう時に「そんな話は聞いてない」とか不満を言ったり決った態度をとったり、挨拶の中で「予定していませんから…」と愚痴っぽく話すのではなく、急なことであっても自分に対する期待とラブコールと想って気持ち良く前向きに考えたいものです。

経験と場数を踏んだ人は「流石に上手いなあ」と思います。その場を盛り上げるユーモアたっぷりな挨拶や、機転、人の思いもつかないような奇抜な考え、「ウイットに富んだ、センスある」話を聞くと、ある意味、素晴らしいなあと思っています。

経営者はたえず準備が必要だと思えます。突然でも対応できる簡単な短めの挨拶を、その場の目的を理解し考えたことを自分の言葉で表現すれば良いので逆にラブコールに出来るのはチャンスかと思えます。期待がなければ誰もお願いしません。大事なものは「明るく元気のある気持ち良いスピーチ」です。

アクティチャレンジ新聞

ACTY

発行元：アクティチャレンジ

編集：中村 悟志
青木 伸郎
小田 望月
沢田聖恵子

お問い合わせ
info@acty-challenge.com

ISO 9001 認証取得事業所



自己紹介を含め謙虚な気持ちを持った挨拶をすればその場の方々の期待通りになるものと思えます。

時には昔の話を

「時には昔の話を」加藤登紀子の歌ではありませんが、私の両親が健在の頃、言っていた言葉に「明治は遠くないにけり」良く聞かれました。子供心に意味は理解していませんでしたが、間に大正時代があるわけですが、単に経過だけでなく、「明治と言う文化」が遠くなったと両親は感じていたのかもしれない。

「昭和は遠くなりになり」と言うにはまだ早いかも知れませんが63年余の「昭和の文化」は戦前、戦時中、戦後と三つによく分けられますが、昭和ほど多様な文化が移り変わった長い時代はないのではないかと思います。

私の父は明治の終わりの生まれ、母は大正生まれであるが、両親は昭和の時代を長く生きた。特に戦時中、終戦後の大変な話、日本中が貧しく食べるものがなかった時代の話を何度も聞かされて育ってきた。戦後60年以上が過ぎ、戦争を体験した人たちがどんどんこの世を去っていく。

本当に昭和は長い、両親から聞く思い出の昭和、我々が体験した昭和。

高度成長時代、苦学生時代は麻雀、バイトに明けくれ、植木等の「そのうちなんとかなるだろう」というのを信じた時代。ヨットに乗って、スキーをする加山雄三にあこがれていられた時代。接待を名目に宴会、キャバレーに繰り出したり、接待ゴルフに明け暮れ「サラリーマンとは気楽な稼業ときたもんだ」の流行語も生まれるそんな時代の昭和もありました。

さて平成に入り平成生まれの新人社員が会社に入ってくると「平成生まれが入るんだ」と思い珍しかったが今では平成2世がどんどん生まれていきます。

明治とか昭和のように半世紀以上続いた時代は懐かしがられます。我々世代、貴重な体験をしたわけですから「時には昔の話を」子供、後輩たちに伝え話していきたいものです。



代表取締役社長
中村 雄三

ACTY WEB SITE <http://www.acty-challenge.com/>

物流の明日へ。

Tomorrow of distribution

株式会社アクティチャレンジ

■本社 〒321-0152
栃木県宇都宮市西川田6丁目6番21号
TEL.028-680-6411 (24時間年中無休)

■配送センター 〒321-0112
栃木県宇都宮市壺坂町656番3
TEL.028-666-0501

■整備工場 〒321-0112
栃木県宇都宮市壺坂町700番4
TEL.028-656-4342

■業務内容 商品・回収品の輸送・配送速報、ルート便、貸切便、チャーター便、トラックレンタカー他
■サポートエリア 関東(栃木県、茨城県、群馬県、埼玉県、神奈川県、東京都、千葉県)または関東近県をはじめ、日本全国へ展開中

車両日常点検講習会

H 26 年 11 月 9 日 (日) 栃木いすゞ自動車株式会社様宇都宮営業所にて、いすゞ自動車様サービス担当の大川様、齋藤様による車両日常点検、チェーン装着の実技講習会をまだ体験していない社員を中心に行いました。



感想...

この度、トラック日常点検講習に参加して、今まで気にしていなかった事や知らなかった事を沢山学ぶ事が出来、とても勉強になりました。又、チェーンの巻き方を教わる事も出来たので、これからの時期活用していけるとと思います。日常点検をしっかり行い、これからも気を付けて運転していこうと思います。

貸切事業部 高久 育大

今回初参加の日常点検講習は、驚きと発見の連続でした。特にキャビンが重くて持ち上がらなかった事、ところがドアを開ける事で持ち上げられた事が一番印象深かったです。又、これからの季節の不安要素でもあるチェーンの巻き方は、出来るまでお付き合い頂いた事、本当にありがとうございました。

貸切事業部 大塚 茉莉奈

栃木いすゞ自動車株式会社様より
報告書を頂きました！



先日は、講習会にご参加頂き有り難うございました。今回は、日常運行前点検・DPD触媒装置の取り扱い・タイヤチェーンの取り扱いをご説明させて頂きました。

今回の講習会では、ご参加頂いた社員の皆様の講習に対する熱意がヒシヒシと伝わっており、私共もいつの間にか夢中になっておりました。これも中村社長をはじめ社員の皆様の日頃からの取り組みの熱意の表れだと感じ取れました。

私共、栃木いすゞ自動車(株)とメーカーでは、企業理念として「運ぶを支え、信頼されるパートナーとして、豊かな暮らし創りに貢献します。」と言うチャッチフレーズがあります。この言葉は荷物を運ぶ、人を運ぶ、食を運ぶ等色々ありますが、弊社の車をお使い頂いている皆様のお手伝いをし、物流を守り、お客様から信頼して頂けるパートナーを目指すことではないかと考えております。

弊社も微力ながら御社の運ぶお手伝いをさせて頂きたく思っておりますので宜しくお願致します。末筆ながら皆様のご健康とご発展をお祈り申し上げます。

栃木いすゞ自動車株式会社 サービス担当 大川・齋藤



整備部業務部長 松橋 寿夫

つづく

完全に自力で動く自動車が登場したのはいつ頃なのだろうか？それは18世紀のイギリスであるだろう。当時のイギリスは世界をリードする産業大国で、新たな発明が生まれ、石炭などを使った蒸気機関を工場の原動力とした先進的な事業が数多く生まれた。(イギリス産業革命)その中で、この「蒸気機関」を交通の手段に取り入れたものがあった。これがそが自動車の原点と言えるだろう。

しかし、当時の蒸気自動車は、巨大な金属の車輪(直径180cm)を必要とし、重量も4t程度あった。振動はひどく、道路を傷め、さらには馬を驚かすと世間から敵対視され、1865年レッドフラッグ法が成立され、速度制限(郊外6.4km/h・市内3.2km/h)、人や動物に警告をする為に、赤い旗を持った歩行者が先導しなければならなくなった。自動車輸送は大きな打撃を受けイギリスの自動車に対する取り組みを遅らせ、ドイツやフランスに先を越されてしまったのである。

自動車の歴史(三)



今回は私の趣味の一つでもある旅行について書きま

す。旅行はお金がかかりますよ。人によって旅行の目的も違えば、何にお金をかけるかも違ってきます。いいホテルに泊まりたい、現地で美味しいものを食べたい、快適な旅をしたい等。

私は宿泊施設についてはとにかく寝られればよいという考え方で、ご飯は現地の食堂や居酒屋さんで食べたので、素泊まりでなるべく安いところを探します。宿泊費を安くしたい、または旅の醍醐味は人との出会いだ！という方に今回おすすめしたいのがゲストハウスです。ゲストハウスは宿泊施設の一つなのですが、簡単に言うと安く素泊まりの宿です。シングル・ダブルの個室を設けているところもありますが、ドミトリという一部屋に二段ベッドがいくつかあって、その一つで寝るといったワイルドな宿です。

ここでゲストハウスのメリットを挙げる、まずは安価であるということ。先日京都へ行った際、宿を取っていなかったのですが、ゲストハウスを



検索して電話で予約したところ京都・祇園の真ん中のビルに入っているゲストハウス(ドミトリのみ)で一泊2500円(土曜日)でした。

そしてゲストハウスには大抵共有スペースが設けられていて、軽食を取ったり、お酒が置いてあったりで情報交換やくつろぐことができるような場所があります。ここでは外国人バックパッカーや日本人旅行者と交流できます。一人旅や夫婦などでの旅行者ばかりで、私もメキシコ人とドイツ人に飲みに行こうと誘われたりもしました。そんな交流が持てるのもゲストハウスならではのことだと思えます。また、ゲストハウスの従業員さんはまず英語は話せるので、通訳としても会話を助けてくれたりもします。

ドミトリですが、シャワーやトイレが共用な点と、貴重品や荷物の管理等でしょう。ドミトリでは一つの部屋に二段ベッドがいくつか並んでいるので、いびきや歯磨りが気になる人は寝づらいと思います。もちろんふかふかのベッドではないです。ホテルや旅館と比べるとアメニティグッズも比べようありません。



専務取締役 中村 悟志

バスオトルや歯ブラシは有料で販売や貸し出しであったり、共用の洗面台には誰かが置いていったような整髪料をみんな使ったりしています。そういうのを楽しめたり、気にならない人はおすすめです。

いかがでしょうか。ゲストハウス、泊まってみたくありませんか？

Christmas Illumination Tochigi vs Sendai

宝積寺駅前「光響楽団」

ある栃木県内のイルミネーションの中でちょうどオースメの場所・・・高根沢町の冬の風物詩となつて今年で6年目、宝積寺駅前ちよろ蔵広場を彩るウインター・イルミネーション「光響楽団」。

テーマは、光のオーケストラ。ステンレスのワイヤで型どりの奏者が総計16体あり、ひとつひとつがアーツ＆クラフツなミニチュアとして演出されています。

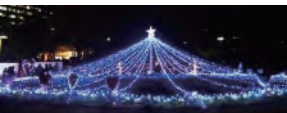
しばし・・・「光響楽団」をご鑑賞あれ！



夏は鮮やかな深緑のケヤキですが、冬は見事な光のファンタジーとして幻想的な空間を演出してくれます。

繁華街・オフィス街にあるので、高層ビルなどから見下ろす光景は『地上に降りた天の川』と形容されています。

最後に仙台市役所、宮城県庁間にある勾当台公園のイルミネーションです。私は、個人的にここが一番綺麗だと思っています。



写真を踏まえ紹介しましたが、やはり実物を見るのが一番かと思えます。ご興味ある方冬の風物詩を是非ご堪能下さい。

社長室室長 中村 大輔

スタッフ紹介

☆☆今月スタッフの時事ニュースを盛り沢山掲載。☆☆

入社してもう少して1年になります。
 現場にもだいぶ慣れてきて、毎日楽しく仕事に取り組む事が出来ています。
 2月には、3人目(多分女の子…きっと女の子)が産まれてくる予定です。気持ちを引き締めて頑張っていきたいと思えます!



渡辺 厚宗 (整備部)

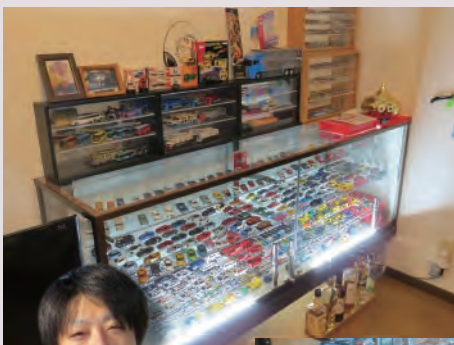
3月17日生まれ A型



私の趣味

『トミカ』のミニカー

貸切事業部係長 関口 俊紀



「私の趣味」ということで、今回は私のいくつかある趣味の中から皆様に「トミカ」のミニカーを紹介したいと思えます。

トミカといえばタカラトミー社の日本を代表するミニカーです。1970年に発売開始をされており、現在で44年の歴史があります。私がトミカの収集を始めたのはここ数年のことですが、昔を思い返すと子供の頃持っていたトミカはいったい何処に消えていったのやら。今も所有していればかなり希少価値のある代物になっていたはず。

収集のスタートは職業柄でしょうかトラックからでした。トミカのトラックだけを集めよう、始めはそんな軽い気持ちです。新品から中古品まで色々な店をチェックしては少しずつ買い求める日々。しかし月日は流れ、段々と目新しいトラックを探すネタがなくなりつつありました。この頃で40台ほど所有。

そして、ついに浮気をするわけです。ここから飛躍的に台数が増えていきます。バス、建機、パトカー

などの緊急車輛に始まり、乗用車にまで手を染める頃には200台を越えていました。

現在は、以前と比べると納車ペースが早くありませんが450台ほどになりました。さて、ここで困ってくるのが収納場所です。以前は小さなケースで満足していたのですが、どう考えても入り切りません。ショーケースが欲しい、と思うわけです。しかも業務用で使うような大きなサイズ。

探せばあるものです。ネットオークションで見つけました。小さな部屋に幅180cmのガラスケース、人間も入れるほどの大きさはいかなものかと思いましたが、その威圧感にも今は慣れました。

来客のほとんどが「うわ、なにこれ!」と言ってくれるので、その時が一番嬉しいです。

ライトアップさせたショーケースを眺めながらウイスキーのロックグラスを傾ける、それもまた幸福のひとつです。

また次の機会があればバイクについて書きたいと思えます。ありがとうございました。